

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和5年12月15日

事業所名: 発達支援センター巣立ち
(放課後等デイサービス)事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価					保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	保護者の方のご意見	
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	17	83	0	利用人数によって違う。プレイルーム以外の場所も使用している。 多目的ホールの利用が難しく(空いていない)活動に制限がある。プレイルームだけの使用では運動等行う際手狭な感じがする(自由時間を含む)	86	7	0	7	0	職員の配置や活動の環境を実際に見ることが無いので分からないところではありますが、迎えに行ったときに活動の様子を教えてください、また子どもの楽しそうな様子から良い環境なのだと思います。	多目的ホールが活用できるよう、早めの予約に気を付ける。また、活動内容に応じて、市内のスポーツセンター、文化活動センター、図書館等の公共施設を積極的に活用するようにしている。
	2 職員の適切な配置	50	50	0	児発管の複数配置があれば良い。(利用者数増加のため)。利用登録数から考えると適切かどうか。	78	10	2	10	0	内容によっては人数が少ないのでは?と思うことも。職員の方が子どもに怒鳴ったと聞きました。	生活支援員等の代替職員で対応している。指導方法については、研修等を通じて職員間で統一した指導になるよう十分気を付ける。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	50	33	17	プレイルームの備品を整備し広く安全な活動になるよう工夫している。	85	5	0	10	0		棚の配置を整理し、活動場所を広くしたり、マットの色分けを明確にすることで、利用者にとって安全で分かりやすくなるよう工夫してきた。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	67	33	0	クールダウンしたり、のんびり横になれるようなスペースが確保できると良い。	93	2	0	5	0	クールダウンや離れてリラックスする場所は確保されているのか?ごろごろしたり本を読んで過ごせる場所がないと子どもが言っていた。	毎朝の清掃やアルコール消毒をしっかり行うことで、清潔な環境づくりに努めている。現在、利用者や保護者の検温は実施していない。リラックスできる場所の確保は、マットの色分け等で安全面を考慮しながら対応していく。また、読書は、学習室を活用していく。
1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	67	33	0	時間を設けるようにしているが、職員の休暇や日々の業務に追われている状況。	/	/	/	/	/	/		毎日のミーティングの中で、PDCAサイクルを取り入れた話し合いを実践している。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見
業務改善	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	17	33	50		/	/	/	/	/		現在、第三者による外部評価は実施できていない。検討課題と捉えている。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100	0	0	教育支援室の先生を招いて定期的に研修を実施してきた。	/	/	/	/	/		昨年度から定期的に、市の教育支援室の先生を招いての研修を実施。また、リモートを使っての国や県からの研修に参加してきた。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100	0	0		100	0	0	0	0		個々へのアセスメントを丁寧に行い、現状の評価と課題、ニーズを踏まえた計画を作成するよう努めていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	100	0	0		98	0	0	2	0		評価やモニタリングの内容を職員全員で共有し、共通理解のもと、指導に当たる。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100	0	0		/	/	/	/	/		日ごろの観察や記録の累積、保護者の願い等を通して、一人一人に対応した計画の作成に心掛ける。
適切な支援の	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	100	0	0		95	5	0	0	0	先生方は表情や行動から息子の気持ちをよく分かって下さっていると思います。個々の能力や苦手や得意を理解して支援が行われていると感じありがたいと思います。	ミーティングを通して、個々の特性を把握し、共通理解のもと、支援に当たるようにしてきた。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	83	17	0		/	/	/	/	/		職員が、個々に提案したものを全員で確認し、共通理解のもとプログラムを決定してきた。
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	100	0	0	それぞれの職員の特性を生かして活動プログラムを工夫している。	91	7	0	2	0	色んな楽しい計画をされていると思います。特に長期休暇時工夫されています。	現場職員が、個々の得意分野を生かした内容や、季節感のあるもの、子どもの興味・関心の高いものを取り入れるように心がけている。
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	83	17	0	長期休暇中には野外活動などを積極的に取り入れ日頃体験できない活動に取り組んできた。	/	/	/	/	/		長期休暇中は、午前・午後に活動があるため、野外活動や日ごろ経験できない内容のものを積極的に取り入れてきた。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見
提供 (続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100	0	0							朝の全体ミーティングでその日一日の流れを確認した後、現場ミーティングで細部についての話し合いを持ち、共通理解のもと活動に入るようにしてきた。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	100	0	0							平常時は翌日の朝、振り返り→実践に努め、情報の共有化を図っている。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100	0	0							毎日、活動記録を残し、支援の改善や目標設定に役立てている。また、記録を全員で回覧することで、情報の共有化を図ってきた。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	100	0	0							定期的なモニタリングを実施することで、保護者のニーズを把握し、現在の個々についての計画の見直しに努めている。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	83	17	0	代表して児発管が参加しているが、時間が合えば担当者も一緒に行っても良いかと思う。						必要や現場の状況に応じて、可能な限り参加するように努める。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施										現在、該当者はいないが、今後利用する子どもがいる可能性もあるため、関連機関との連携を密にしながら関わっていく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										現在、該当者はいないが、今後利用する子どもがいる可能性もあるため、関連機関との連携を密にしながら関わっていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点			はい	どちらともいえない		いいえ	わからない	無回答
関係機関との連携 (続き)	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	50	50	0	特別支援学校とは毎月の子どもの様子のお知らせと長期休暇中の利用時に参観に来ていただき情報交換している。	/	/	/	/	/		各学校とは毎月の予定表送付時に、その月の利用状況や様子を伝えるようにしている。また、送迎の際、情報交換するよう努めてきた。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	50	33	17		/	/	/	/	/		高校卒業後の連携は不十分であり、今後の課題である。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	50	33	17		/	/	/	/	/		リモートやユーチューブを活用し、日ごろあまり聞けない専門的な研修も受講できるようになった。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	33	17	50		29	9	9	48	5	参加しているものでは障がいの無い子との活動はないような。通学している学校での定期的な地域小学校とのふれあい交流はあるが基本的に機会は少ないと感じます。	今年度、市内中学校の吹奏楽部との交流を行った。コロナ化の影響で児童センターを利用する機会が減ったが、今後は利用の方向で考えていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	17	33	50		/	/	/	/	/		毎年、保護者参加の夏祭りは実施してきたが、地域との交流はできていない。今後の検討課題である。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100	0	0		100	0	0	0	0		利用開始時の説明の際、丁寧な説明に努めてきた。また、質問等にも誠意をもって対応するようにしている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	100	0	0		100	0	0	0	0		利用開始時の説明や、モニタリングの際に家庭と課題やニーズを共有しながら計画を作成し、対応するよう努める。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	67	33	0		50	17	7	24	2	巣立ちの方でペアトレは受講したことがないので。実際に参加した事が無い為詳細が不明です。	定期的にペアレントメンターを招いて座談会を実施している。今年度は現在1回実施した。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100	0	0		95	5	0	0	0	利用する回数が少ない中変化をよく見てくださっていると思います。情報交換ができ有難いです。成長の喜びも悩みもしっかり共有してもらえるので何でも伝えたい気持ちになります。	送迎の引き渡しの際や、モニタリング等を通して、子どもの状況を伝え、お互い共通理解のもと、個々に応じた対応に努める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	100	0	0		96	2	2	0	0		送迎の引き渡しの際や、モニタリング等の中で、保護者の願いに寄り添った対応に努める。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	67	33	0	定期的にペアレントメンターを招いて座談会を実施している。	32	21	7	38	2	保護者同士でお話できる場を設けて頂き情報交換できています。保護者同士のつながりの場に参加してみたいと思うけど仕事のこともあり、なかなかです。利用したことが無い。	定期的にペアレントメンターを招いて座談会を実施している。今年度は1回実施した。参加者を増やす手立てを考えていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100	0	0		67	0	2	31	0		保護者からの苦情や要望に対しては、迅速に誠意ある態度で対応するよう心掛けている。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100	0	0		93	2	0	5	0	先生によっては意思疎通がうまくいってないのでは？と感じる時もある。	個々の特性に応じた方法で伝えるように努める。研修等を通じて職員の資質向上を目指す。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	83	17	0	活動の様子について会報で定期的に発信している。今年度はまだできていない。発行予定。	67	5	2	26	0		活動の様子について会報で定期的に発信している。今年度は11月に発行した。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100	0	0		88	5	2	5	0		個人情報の取り扱いには留意してきたが、職員間でのチェックをさらに強化していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見	
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルの策定と、職員や 保護者への周知徹底	83	17	0		52	14	5	29	0		昨年同様、保護者へのマニュアルの 周知には至っていない。たより等を通 じて、周知していきたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避 難、救出その他必要な訓練の実施	67	33	0	保健センター全体の避難訓練や 県の訓練に積極的に参加している。	48	5	2	45	0		保健センター内の避難訓練や、県主 催の原子力防災訓練に参加した。地 震に備えての避難訓練も実施してい く。
非常時等 の対応（ 続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確 保等の適切な対応	83	17	0	年1回以上職員研修を実施して いる。							虐待防止のための委員会を設置し、 職員研修を実施した。職員間で共通 意識のもと、指導に当たるようにす る。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における 組織的な決定と、子どもや保護者に事前 に十分に説明・了解を得た上での児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス計 画への記載	100	0	0								身体拘束適正化のための委員会を 設置し、職員研修を実施することで 防止に努めた。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医 師の指示書に基づく適切な対応	100	0	0								利用開始時の聞き取り、アセスメン ト、モニタリングの際に確認し、職員 で共有して対応に当たる。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内 での共有の徹底	100	0	0								ヒヤリハットに記録を累積し、共通理 解のもと、対応を話し合うように努め る。